平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年7月23日記入

基本目標	躍動し　魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	35130
政策名（章）	第5章　輝き魅力あるまちづくりを進めます	評価担当局	市民局
基本施策名（節名）	第1節　輝き魅力ある都市の創造	施策所管課	文化国際課
施　策　名	都市文化の創造と情報発信	課長名	瀬戸茂美

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

うるおいのある個性的なまち、活気とにぎわいにあふれるまちは、新たな出会いと感動を与えてくれるとともに、ふるさとへの愛着心や市民としての誇りを育ててくれます。そのため、豊かな感性が響き合うさがみはら文化の創造が求められています。

この「新たなさがみはら文化」の創造と振興を図るため、広い地盤を持つ写真文化にスポットをあてた「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら」を平成13年から開催しています。この写真祭を、写真展を中心に様々なイベントを組み込んだ市民参加型の文化事業として開催することにより、質の高い都市文化の育成に努めます。

また、市民文化財団と連携し、市民が優れた芸術、文化に触れる機会を育むための内外に向けた情報発信を行っています。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	17,900	17,900	
人件費	11,270		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	27	25	
合計	29,170	17,900	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

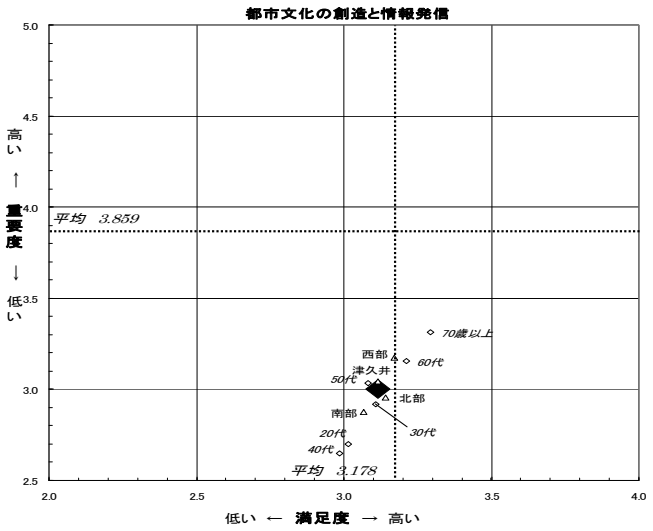
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	フォトシティさがみはら「アマの部」応募作品点数（%）	「アマの部」 H17市民の応募作品数(467)／H17応募総数(2645)×１００	市民の写真をツールとした文化活動への参加促進
指標2	フォトシティさがみはら写真展の来場者数（人）	フォトシティさがみはらプロの部・アマの部入賞作品展への来場者数	写真文化のもつ芸術性、記録性の分野に関する観賞機会への市内外からの参加促進
指標3	相模原市民文化財団HPのアクセス数（件）	相模原市民文化財団ホームページへの年間のアクセス件数	相模原市民文化財団のホームページにおいて提供する文化情報案内の利用促進
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：%）	H17	17.7	19.0	20.2	19.5		20.0		21.0	
事業費／人員										
指標2（単位：人）	H17	2,222	3,500	2,588	3,650		3,800		3,950	
事業費／人員										
指標3（単位：件）	H17	122,000	160,000	170,000	170,000		180,000		190,000	
事業費／人員										
指標4（単位：%）										
事業費／人員										
指標5（単位：%）										
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.115で121施策の中で72番目。
〇重要度は3.000で121番目である。
〇改善要望度は-0.5626で121番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は西部で最も高く、南部で最も低くなっている。重要度は西部で最も高く、南部で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 (2) 1	平成18年度調査では、満足度（3.240）、重要度（3.430）と満足度のみが平均を上回っていた。今回の調査では満足度（3.115）、重要度（3.000）とも平均値を下回っており、重要度は全施策中最も低い値となり、評価低下の要因となった。フォトシティさがみはらについての市民の理解度と認知度がまだまだ低い状況にあるとことが要因と思われるが、市民の参加人数も上昇傾向にあり、今後も新たなさがみはら文化である同事業の市民周知に努めていく。
合計		3	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	「新たなさがみはら文化」の創造と発信については、市民への認知度をさらに高め、全市的な盛り上がりを目指すとともに、より一層の市外への効果的な情報発信の強化を図る必要がある。
解決策	フォトシティさがみはらについては、市民がより主体となって運営に取り組める環境づくりを進めており、市民参加型事業への転換を実現する。また、「新たなさがみはら文化」のPRの強化に努めること。 （局内評価会議） 新たな総合計画を策定する際は、施策や施策体系の見直しが必要である。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

新しい総合計画の中で施策のあり方を検討する必要がある	2次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

重要度の低さを考えれば、「都市文化＝フォトシティさがみはら」以外の事業を検討する必要がある。解決策に具体策を記入すること。	3次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

都市文化の創造と情報発信

コード	35130

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
文化国際課	文化行政推進事業（フォトシティさがみはら）	17,900	17,000	17,000	1・2	1	1.40	17,900	29,170
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		17,900	17,000	17,000			1.40	17,900	29,170